

第3回審査委員会における第一提案審査に係る指摘事項等

■青山延伸に係る優位性および実現性に関する事項

No	指摘事項等
1	○白山駅から青山地区まで延伸する優位性については既に表示されているが、白山駅から青山地区までの区間における重複するバス路線の効率化・高度化のほか、多角的な評価も必要であり、利用者にとってのメリットも含め優位性について具体的に示すこと。
2	○交通結節点における乗継抵抗を低減する必要があると思うが、青山の交通結節点における施設整備の面で利用者の安全性や快適性などにどのように配慮するのか、具体的な項目ごとに取り組み方針を示すこと。 ○それらを踏まえ、青山の交通結節点に関して、貴社として望ましいと考える整備イメージと、その用地確保が不可能な場合の代替案イメージを示し、課題を整理すること。

■本事業の目的達成に関する事項

No	指摘事項等
3	○当初提案の“様式10に関する参考資料9”において、貴社が最終的に目指すネットワークのイメージが表示されているが、より市民が具体的にイメージできるように交通結節点のポイントと、幹線・支線・フィーダーなどを示すこと。
4	○BRTの運行とバス路線再編による都心軸の運行本数については既に表示されているが、専用走行路と一般車線を走行する台数について示すこと。
5	○榎谷小路の代表断面における運行本数の変化については既に表示されているが、併せて輸送力がどのように変わるかを示すこと。 ○都心軸のバス路線がどの程度効率化が図られ、その結果郊外路線のサービスの維持・拡充にどの程度寄与しているかについて、運行本数の変化とともに、輸送力の変化についても方向別で示すこと。 ○上記内容のうち、都心軸におけるバス路線の効率化によってバスの運行本数は少なくなるが、需要と供給のバランスを考慮した場合、サービスレベルを確保しながらも想定需要に対して十分に対応可能であり、かつ効率的な運行になるかどうかを具体的な数値を用いて示すこと。
6	○現在新潟市が貴社とともに、“公共交通と土地利用を連動させたまちづくり”や“マイカーから公共交通へシフトしてもらうための利用促進の取り組み”を進めているが、本事業を推進するなかでこれらの取り組みをさらに前進させるための貴社の役割と基本的な姿勢を示すこと。
7	○BRT運行とバス路線再編（特に乗換）については、利用者に定着するまでに一定程度時間がかかると考えられるが、定着するまでの間のサービスレベルの維持に関する基本的考え方を示すこと。

■事業の透明性確保に関する事項

No	指摘事項等
8	○事業収支の透明性を確保するため、車両等を有償にした場合に本来であれば必要経費となる車両のリース料等がどの程度になるかを試算し、その経費分がまちなかや郊外部のサービス向上にどの程度寄与しているかについて明らかにする方法も考えられるが、説明責任を果たすうえでの貴社の姿勢と具体的な説明方法を示すこと。

9	<p>○今回の提案では、一部のバス路線において減便やルート変更が示されているが、その判断に至った基本的な考え方を市民にわかりやすく示すこと。</p> <p>○サービスレベルの低下に繋がる運行本数の変更や区間の変更がされる場合は、その決定に至るプロセスにおける透明性の確保をどのように考えているか示すこと。</p>
---	--

■市民等との合意形成に関する事項

No	指摘事項等
10	○バス路線再編を含め、本事業を実現するために、今後市民に対してしっかりと説明し、理解を得て合意形成をしていかなければならないと思うが、貴社の責務と取り組み姿勢を示すこと。

■その他

No	指摘事項等
11	<p>○バス路線再編に伴う乗継利用者に対して、乗継抵抗を軽減する取り組みが重要であると思うが、以下の点について貴社の考え方を示すこと。</p> <p>1) 料金体系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I Cカードを利用する場合は通し運賃を想定されており、今後 I Cカードの普及が重要と考えられるが、どのような取り組みを考えているか ・ 現金利用者への対応についてはどのように考えているか ・ 利便性が高い料金制度についてはどのように考えているか（一日乗車券、乗継割引等） <p>2) 案内情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者をはじめ、広く利用者に対してわかりやすい情報提供が必要と考えられるが、どのように取り組む考えか <p>3) “施設整備”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通結節点においては、風・雨・雪に対応した上屋と防風壁の設置や、道路を横断せずに乗換できるようなレイアウトの工夫が必要であると思うが、貴社の基本的な考えとそれを実現するための役割をどのように考えているか
12	<p>○修正提案書の参考資料 1 「基幹公共交通軸における各バス停の 1 日利用者数」において、利用者数の実態が示されているが、数値の算出方法を示すこと。</p> <p>○基幹公共交通軸の鳥屋野潟南部地域における利用実態を把握するためには、イベント時におけるシャトルバスの輸送人員の実績も考慮する必要があるため、追加で示すこと。</p>